数式配列で行列を定義し、相対参照と絶対参照をもちいて、べき行列を計算 する。

6

13

14

行列演算

確率行列の積がやはり確率行列になることを確かめよ。

行列入力 Ctrl + Shift + Enter

積 mmulti(…)

逆行列 minverse(…)

べき乗 Pⁿ, n=1,2,…(行列での参照をコピーペースト)

与えられた行列

p(i,j), i,j = 1,2,3

P(ij)	1 2		3	
1	0.9	0.1	0	
2	0	0.8	0.2	
3	0.1	0	0.9	
	А	В	С	
4	0.9	0.1	0	
5	0	0.8	0.2	

0.1

Α

0

В

0.514

0.026

0.9

С

0.434

0.731

2乗した確率行列 P² p[^](2)(ij), ij = 1,2,3

データ入力、確率行列 P

3乗した確率行列 P³ p⁽³⁾(i,j), i,j = 1,2,3

8	0.81	0.17	0.02
9	0.02	0.64	0.34
10	0.18	0.01	0.81
	A	В	С
12	0.731	0.217	0.052

0.052

0.243

\sim					
(1)		11 1-	· 7 +	EB	+1
	合 1/	ルノ、	~ /	(* 开	146.
· · /			-/ //-		1700

- ② セルA8:C10をアクティブ
- ③ 数式バーfxをクリック
- ④ MMULTI を選択
- ⑤ 配列1にはA4:C6を選び、 絶対参照(ファンクションキーF4) \$A\$4:\$C\$6 とする。
- ⑥ 配列2にはA4:C6を選び、相対参照A4:C6とする。
- ⑦ CTRL+SHIFT+ENTER とする。簡単に「OK」をしてはいけない。
- ⑧ 2乗値がセル A8:C10 に得られ、終了。

さらに3乗値 P³、4乗値 P⁴ などを求めるならば、 3乗値は セルA8:C10 を セルA12:C14 ヘコピーペーストする。 4乗値は セルA12:C14 を セルA16:C18 ヘコピーペーストする。 5乗値は セルA16:C18 を セルA20:C22 ヘコピーペーストする。 以下同様

注意:同一の行列(セル範囲)について相対参照と絶対参照をつかうことで、 べき計算がコピーペーストで行える。